

クローズアップ



片山 嘉明さん (83 歳) 活動時間 : 212 時間

図書、折り紙(行事食カード用)担当、折り紙同好会(先生)

♥ボランティアをはじめのきっかけは？

81歳でメラノーマが発覚し、左足を膝下から切断しなければ1年の命と診断されました。80歳を過ぎていまさら手術？と迷いつつも、大阪医大で手術を受けました。手術を受けて第一に考えたことは、多くの人々にお世話になったという事です。多くの人に助けられて命をもらったという感じです。せっかく手術後のリハビリまでしてもらい、義足で歩けるようにまでなったのに、人付き合いが苦手ということで家にこもってはいは、心身ともに退化してしまうと考えました。それでは自分としてもつまらないし、手術でお世話になった多くの人たちに対しても申し訳ないと思い申し込みました。

♥大阪医科大学附属病院を選んだ理由は？

手術でお世話になったのでいくらかでもその恩返しをしたいと考えたことと、交通の便が良いことです。

♥当院でボランティア活動をしてみてどうですか？

年齢や身体のことがあったにもかかわらず、ふれあいグループの仲間に入れてもらったことに感謝しています。ふれあいのメンバーは、雰囲気明るいのが、とても素晴らしいです。活動内容や時間についても、個人の都合を最優先で決めてもらえるのがありがたいです。

♥これからボランティア活動を考えている方にひとこと

新しい出会いがあり、少しでも人のためになっているということは生きがいとなり、大げさに言うと、新しい人生のはじまりとなります。高齢になると、体が弱り、人の世話になることも多い。できる範囲でそのお返しをしましょう。思い切って一歩を踏み出してください。「情けは人のためならず」と言います。人のためになっているということは、生きる張り合いとなり、若返りともなるでしょう。

担当者より：硬派な日本男子という感じなのに、折り紙好きという一面がありびっくりしました。ふれあい折り紙同好会の先生をかっててくださいました。几帳面で、根気よく、何度聞いてもやさしく教えてくださいます。いつも、ありがとうございます♪

クローズアップ



青地 暁子さん (64 歳) 活動時間 : 57 時間

エコキャップ、初診セット、折り紙(行事食カード用)担当

♥ボランティアをはじめのきっかけは？

五領コミュニティセンターのポスターを見て応募しました。

♥大阪医科大学附属病院を選んだ理由は？

今まで、いろいろなボランティア活動をしていましたが、病院関係はどんなことをするのかなど思ったのと、病気の事も知りたかったのでここを選びました。病気の予備知識を深める機会が増えるかなと思い選びました。

♥当院でボランティア活動をしてみてどうですか？

新たな生活リズムの中で2年間過ごせました。近くの方にはご縁のある場所だと思います。阪急沿線で駅から近いので良い場所です。こちらでのボランティアは直接患者さまにふれあうものもありますが、陰ながらできる裏方的なボランティアがあるのがとても良いです。

♥これからボランティア活動を考えている方にひとこと

ボランティアは自分自身が元気でないとできない、本人の意思でしか動けないもの。誘われたからするものではありません。大阪医大でのボランティア活動は気持ちが良い方向に向けます。安心感のあるホットスポットですよ。

担当者より：マイペースでいつも楽しく活動に参加くださる青地さん。何事にも積極的に、ほのぼのとした風を運んでボランティア室へ来られます。ふれあいメンバーが明るくなります(*^_^*)



エコキャップボランティア



担当者：堀田さん、藤平さん、稲葉さん、加賀山さん、青地さん

当院に集まったエコキャップは、病院ボランティアさん達の手により洗濯機にかけ洗浄されます。乾燥後、シールがついているものは、はがして、綺麗なものを箱詰めします。

エコキャップ800個で一人の命が救えます。当院では累計1,289,400個、1,611人分(2012年1月)のワクチンを届けることができました。

皆様ご協力いただきありがとうございました。これからも病院ボランティアさん達が活躍します♪



♥一緒に活動してみませんか？♥

大阪医科大学附属病院ボランティアグループ ふれあい

ボランティアに興味のある方はお気軽にお問合わせください

TEL : 072-683-1221 (内線 2515)

大阪医科大学附属病院

病院ボランティア室(担当:小野・船橋)

